

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 母と子の健康づくり事業（母子栄養管理事業経費）
-------------------	--------------------------------------

区分	番号	名 称
章	1	やさしさと共生するまち
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる
施策	2	保健予防活動の充実
小分類	2	母子保健の充実
主要な施策	1	妊産婦や乳幼児の保健指導の推進
事務事業番号	001	事務事業コード 12221001 事業開始年度 昭和 5 4 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	乳幼児保健指導
------	------	------------	---------

部 名	保健福祉部	グループ名	健康推進 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	<p style="background-color: #ffffcc;">（何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください）</p> 8 か月児
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffffcc;">（目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください）</p> 午前（第 2 子以降）・午後（第 1 子）に分けて、栄養士による離乳食相談や保健師による育児相談、看護師による身体計測、子育て支援センターの保育士による遊びの紹介を行う。 回数 月 1 回 会場 しんた 2 1
目指す姿（成果）	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください）</p> 母親が離乳食を適切にすすめられ、子どもが順調に成長発育することで将来の生活習慣病予防につながる。また、母親に対し育児不安の解消、育児負担の軽減を図ることで良好な親子関係を築くことができる。
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください）</p> 母子保健法

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	相談実施数	人	目標値	349	350	350	350	350
			実績値	335				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	18	64	47	47	47	141
合 計				18	64	47	47	47	141
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	1,343	1,407			
			嘱 託 員	千円	196	215			
			臨時職員	千円	134	135			
			合 計		1,673	1,757			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 乳児期において食育を推進していくことと虐待の未然防止のため、市として実施していくことは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 離乳食開始後のステップアップする時期であり、順調に進められているのか、また、4か月児健康診査時に発育発達・育児で心配されるケースの健康を確認できる場として、本事業は非常に有効である。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 周知方法(個人通知・広報紙掲載)については継続して行っていくことより現状と変わらない状況で推移すると考える。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト(予算や人工、所要時間)を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 事業で使用する離乳食用パンフレットの購入に要する必要最低限の経費であり、削減は難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	乳児期において食生活のリズムを確立し、適切な食習慣を身につけることは大切である。 また、良好な親子関係を維持することは、虐待の未然防止につながり、事業を継続して実施していくことは必要である。
----	----------------------	--

総合的な評価(当該事務事業の方向性)

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大(事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力的に推進する事務事業)
- 維持(現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業)
- 改善(現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業)
- 休止(暫定的に休止する事務事業)
- 終了(当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業)
- 廃止(当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業)